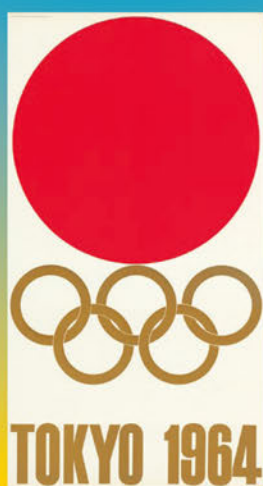


# オリンピック・パラリンピック 栄光の軌跡

PRINCE CHICHIBU MEMORIAL SPORTS MUSEUM TOURING EXHIBITION AT MIE

## 秩父宮記念スポーツ博物館 三重巡回展

2017 11.18 SAT > 2018 1.14 SUN



こども  
無料  
(高校生以下)

【会場】 三重県総合博物館 企画展示室

【観覧料】 基本展示観覧券でご覧いただけます  
(一般 510 円、学生 300 円、高校生以下無料)

【休館日】 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)

【開場時間】 平日: 午前9時～午後5時  
土・日・祝: 午前9時～午後7時  
※展示室への入室は、各日の閉場時間 30 分前まで

主催: 独立行政法人日本スポーツ振興センター/公益財団法人日本オリンピック委員会  
特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会/三重県総合博物館

後援: 公益財団法人日本体育協会/公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会/公益財団法人三重県体育協会

三重県障がい者スポーツ協会/三重県高等学校体育連盟/三重県博物館協会

協力: 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

事業運営: スポーツミュージアム連携・啓発事業実行委員会



公認プログラム



## 第1章

オリンピック初出場(三島弥彦・金栗四三)、オリンピック初メダル(熊谷一弥・柏尾誠一郎)、オリンピック初金メダル(織田幹雄)。先人達の切り開いた“初”があって、今日の私達があります。オリンピック“初めて”物語。耳を澄ますと、彼らの息吹と情熱が聴こえてきます。  
★ベルリン大会で銀メダル・銅メダルを分け合った西田修平・大江季雄の「友情のメダル」も特別展示します。



**友情のメダル(西田修平・大江季雄)**

第11回ベルリン大会 / 1936年  
秩父宮記念スポーツ博物館蔵

## 第2章

競技技術のみならず、デザインもまた大きな変化を遂げてきたオリンピック。2020年東京大会では、どのようなデザインブランディングがなされるのでしょうか。過去日本で開催された3大会「1964年東京」「1972年札幌」「1998年長野」を、デザイン面から見つめます。「あの時あんなだったなあ」とそんな懐かしい思い出と共に、あの頃へタイムスリップしてみませんか。



**振袖**

第18回東京大会 / 1964年  
秩父宮記念スポーツ博物館蔵

## 体験コーナー

様々なスポーツシーンの舞台となった国立競技場。実際に使用されていたトラックの上を、選手になった気分で歩いてみませんか。その他、1964年東京オリンピックのメダル(レプリカ)を首から掛けて表彰台に上ったり、砲丸・円盤にも触っていただけます。

※平成28年度巡回展の体験コーナー風景です。

本展覧会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向け、皆様に夢と希望を届けるべく企画しました。日本唯一の総合スポーツ博物館である秩父宮記念スポーツ博物館所蔵のお宝を中心に、1964年の東京オリンピックをはじめとするスポーツシーンを彩った品々や、スポーツを題材にした芸術作品、三重県ゆかりのオリンピック・パラリンピックメダリストの活躍ぶりをご紹介します。



**「ゴールするランナーたち」**

作：ルドルフ＝ヘンマン・アイゼンメンガー  
第11回ベルリン大会 / 1936年  
秩父宮記念スポーツ博物館蔵

## 第3章

「芸術」という窓越しに「スポーツ」を見ると、そこにはどのような光景が広がっているのでしょうか。油画、日本画、墨画、彫刻、写真、更に「捨てられる運命にあるボールにアートの力で命を与える」をコンセプトにした「リボン・アートボール」。アートの視点からスポーツを感じてみませんか。

## 第5章

三重県出身のオリンピック・パラリンピアン活躍を、貴重な資料によって紹介します。また、三重と東京オリンピックに関するエピソードや、国体など県をあげてのスポーツイベントについても展示します。  
齋田悟司さん(車いすテニス)、土性沙羅さん(レスリング) 野口みづきさん(陸上)、吉田沙保里さん(レスリング)



**ランニングシューズ(野口みづき)**

第28回アテネ大会 / 2004年  
個人蔵

## 第4章

1964年東京大会から参加している日本のパラリンピアン。多種多様なサポートと共に超人技とも言えるプレーを繰り広げる彼らの姿からは、スポーツをする喜びや生きる強さが伝わってきます。持ち手に点字が施されているリオパラリンピックトーチや、義足、競泳金メダリスト・河合純一さんの資料を通じて、パラリンピックへの扉を開いてみませんか。  
★2019年に日本で開催される「ラグビーワールドカップ2019」に向けて、ラグビーの資料も展示します。

**リオパラリンピックトーチ**

第15回リオ大会 / 2016年  
秩父宮記念スポーツ博物館蔵

## 同時開催イベント

- **ギャラリートーク**  
11月18日(土)、2018年1月14日(日)
- **ふれて、学んで、挑戦しよう! 三重とこわか国体**  
11月19日(日)
- **鈴鹿アンリミテッドFC選手による「ボールを使わないかんたんトレーニング教室」**  
12月2日(土) 協力: 鈴鹿アンリミテッドFC(イセツト支援)
- **ポッチャ体験会**  
12月10日(日) 協力: 社会福祉法人三重県厚生事業団・みえポッチャ協会
- **いよいよ来年! 三重でインターハイ開催!**  
12月16日(土)
- **市川嘉総監督記録映画「東京オリンピック」上映会**  
(三重県生涯学習センター × 三重県総合博物館 連携事業)  
12月17日(日)事前申込制
- **木で遊ぶ「カップ」体験**  
(三重とこわか国体デモンストラーションスポーツ競技)  
2018年1月7日(日) 協力: 三重県カップ協会
- **百五銀行野球部によるストラックアウト**  
2018年1月13日(土) 協力: 百五銀行野球部

**MieMu 三重県総合博物館**  
みえむ | Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田津部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061  
tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp  
web <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>  
twitter @mie\_pref\_museum  
facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

【開館時間】午前9時～午後7時 ※展示エリアは平日午後5時まで、土・日・祝は午後7時まで(最終入場は、閉場の30分前まで)  
【休館日】11月20日(月)、27日(月)、12月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、29日(金)～平成30年1月3日(水)、9日(火)  
【アクセス】公共交通機関: 津駅(近鉄名古屋線、JR 紀勢本線、伊勢鉄道) 西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘団地行き」) 約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩: 津駅西口から約25分/自動車: 伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

